

のうがくかい

「なごやか農楽会」だより 71号

2022.8月(秋)号



港・中川支部 援農 サトイモ畑除草

- ◇ なごやか農楽会からのお知らせ
～ 研修会中止 ～
～ 会費未納の方 農楽会会費振込のお願い ～
- ◇ 援農作業予定 (9～11月)
- ◇ 援農作業実績 (5～7月)
- ◇ 農家さん紹介／あいちの伝統野菜など

なごやか農楽会からのお知らせ

なごやか農楽会 本年度の研修会中止について

本年度の研修会は、「会員及びご家族（ご家族の方にも農楽会や援農塾の活動を知って頂きたい）」に援農塾がお手伝いしている畑での収穫体験を兼ねた研修会を検討しておりましたが、コロナ感染者数が過去最高となり、ピークアウトの時期も不透明なことから、本年度の研修は中止としました。

なごやか農楽会だよりは、名古屋市農業センターのご協力により発行しております。

なごやか農楽会からのお知らせ

本年度会費未納の方 会費振込のお願い(重要)

全ての会員に会費(1,000円)の振込み(ゆうちょ銀行(振替))をお願いしております。

ゆうちょダイレクト(インターネットバンキング)・ゆうちょ銀行口座からのATMでの振替が振込費用が安くできます。

ゆうちょ銀行口座から振替も利用できます。

会費未納の方お手数をおかけいたします。

よろしくお願いいたします。

なお、ゆうちょ銀行の自分の口座以外からの振替の場合振込人名がわかるようにご依頼人名欄になごやか農楽会会員のお名前を忘れずにご記入下さい。

振込(振替)先等は次のとおりです。

振込先：ゆうちょ銀行(記号12100)記号・番号の場合
口座名：なごやか農楽会
種類：普通預金口座(番号68446931)
(他銀行からは、店番218—普通預金6844693)

ご自分のお名前も忘れずに



評議会報告

報告・審議・検討事項の概要

5月度会議(5月14日開催)

・20年史の援農先農家への配布について、できれば支部から渡して欲しいとの要望が川合さんから出され各支部了承。各区の図書館にも置いていただく予定。

・総会の反省など

ZOOMを使って2拠点を結び開催したが運用に問題があった。

実習室(受信側)で評議会メンバー(進行役が不在でスムーズに進められなかった。

スピーカーの音量が小さい、講習室(発信側)の声が聞こえない。

プロジェクター利用で室内の電気を消したため配布資料が見えない。講習室(発信側)での質問者の声の実習室には聞こえない。

等の問題あり、次回開催に向け運用を検討する。等の問題あり、次回開催に向け運用を検討する。

・研修会(案)について

昨年からの経緯があり、前副会長の間瀬さんから説明を受ける。会員とその家族を対象に、援農塾の活動内容(畑の管理活動)を理解してもらうことを目的とし、研修と収穫体験を援農塾の実習畑で実施。

実施時期は11月下旬の土曜または日曜の半日。本案で実施の方向とし、8月の農楽会だよりで周知するよう進めることとした。

・2022年度評議会担務について資料に基づき説明した。

・2022年度評議会(事務局)活動予定(案)について資料に基づき説明し了解。

議会開催日 毎月第2土曜日、ただし2月は第1土曜日、ボランティア育成講座における評議会説明会実施日 11月12日午後、農業まつり参加、ボランティア育成講座修了式・交流会実施日 2月4日、ボランティア育成講座受講生の援農先農家での実技体験、農業センター、JANAごやかとの打合せ 実施

・「支部間の相互応援」については、港・中川支部の現在の人数から見てすぐに必要な状況ではないが、7名の応援可能会員もいることからルール作りが必要。

6月度会議(6月11日開催)

・HP運営について 担当から現状を説明。HPの基本的な形が決定したので、現行ページの移行作業をしている。支部投稿者には「特定ページの投稿のみ可能」操作方法はもう少し進んだ時点で説明。具体的なコンテンツ・表示方法は評議会で決める。支部は担当者を決め、情報収集ルートを決めて欲しい。必要スキルは、支部担当者は文字の入力・写真の貼り付けができる程度。上記説明を受け、「HPを作る目的・誰に見せるのか、何を伝えたいのかHPの継続」を意識し、評議会評議会でコンテンツ・表示方法等検討することとした。

7月度会議(7月9日開催)

・農業センターまつり 10月29日、30日に開催決定。

・ボランティア育成講座受講生向け、実技体験研修については、昨年に引き続き開催。研修実施が可能な援農先があれば次回評議会で報告。

・愛知教育大学生 中村さん卒業論文作成の協力結果について論文概要を報告。

・JANAごやかに7月12日、農業センター同行で訪問する。

・みどり支部新規援農先について「榊原 幹男」様を農業センター・横井・滝で訪問。朝市に出荷する野菜の事前作業(出荷前日の梱包作業)、ぶどうの袋がけ等の手伝いを希望

・研修会について検討を行ったが、コロナ禍の状況からその後、中止が決定された。

(本文は、なごやか農楽会ホームページの会員のページにあります)

援農作業予定 (9～11月)

てんぱく支部



ニンジンの間引き作業

9月
ニンジンの間引き

10月
サツマイモのつる切り・収穫

11月
タマネギの植付け
梅の剪定

みどり支部

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に
撮って下さい。支部長と相談の上。

9月
ポットに土入れ作業
ブロッコリー畑肥料いれ、
ブロッコリー苗定植
サツマイモ畑の除草

10月
JA土曜朝市に出荷する野菜の袋詰め作業

11月
園児サツマイモ掘りの手伝い

援農作業予定 (9～11月)

もりやま支部



ブロッコリー定植作業

9月

野菜収穫、草取り、畑整理
ワイン用ぶどうの収穫
カラス対策用ネット・ビニール外し
梅の剪定、堆肥施肥

10月

野菜収穫、草とり、畑整理
ぶどう蔓切り、枝切り、カラス対策撤去
堆肥・もみがら運び、ブルーベリー剪定

11月

野菜収穫、草取り、畑整理
ぶどう蔓切り、誘引テープ外し
もみがら蒔き、梅剪定

港・中川支部



ブロッコリー定植作業

9月

トマト出荷箱作り
トマト栽培床の草取り
ブロッコリー定植
ミツバ出荷準備
サトイモ収穫・調整

10月

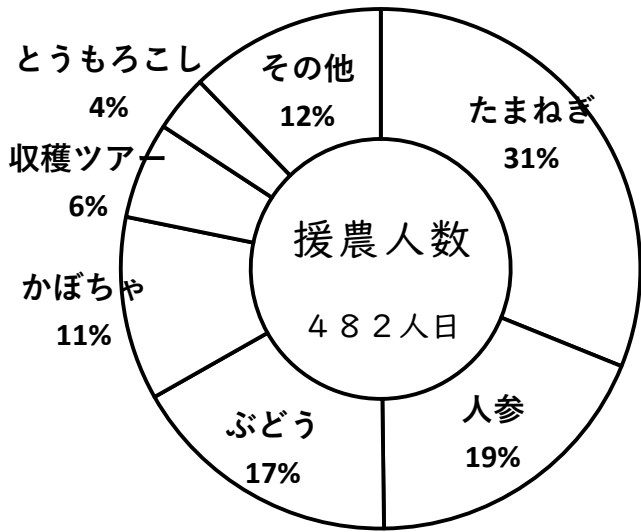
トマト出荷箱作り
トマト栽培床の草取り
ミツバ出荷準備
さつまいも掘り体験手伝い

11月

トマト出荷箱作り
タマネギ定植
ミツバ出荷準備

援農作業実績 (5～7月)

てんぱく支部



1人日=1人1日3時間の援農作業

支部会員へのお願い

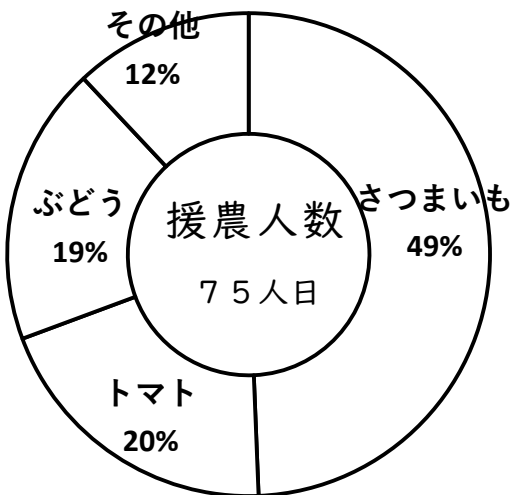
援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に
撮って下さい。支部長と相談の上。

三か月間(5月～7月)の援農実績は、330人日。
累計(2月～7月)は482人日。
三か月間の援農先は、5農家。

援農作業は、玉葱収穫・皮ムキ・清掃分別
かぼちゃちぎり・ヘタ切り・洗い・箱詰め・つる
めくり、ぶどう玉抜き・房おとし
収穫ツアー、朝市手伝いなど

昨年同期(5月～7月)の援農実績 293人日
昨年の累計実績は、427人日

みどり支部



1人日=1人1日2時間の援農作業

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に
撮って下さい。支部長と相談の上。

三か月間(5月～7月)の援農実績は、64人日。
累計(2～7月)は75人日。
三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、トマト片付け・たい肥まき
園児(年中、長)サツマイモ苗植付け手伝い
ブドウ摘粒・袋掛け・花穂切り等

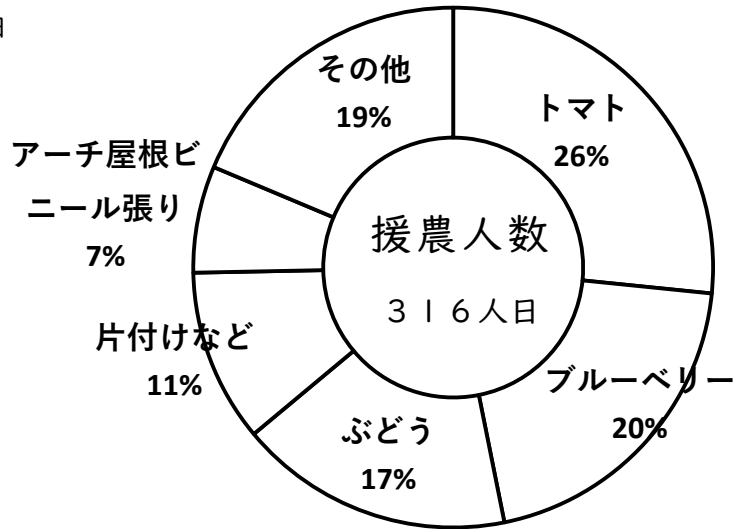
昨年同期(5月～7月)の援農実績 130人日
昨年の累計実績は248人日。

援農作業実績 (5～7月)

もりやま支部

三か月間（5月～7月）の援農実績は、181人日
 累計（2～7月）は316人日。
 三か月間の援農先農家は、3農家。
 援農作業は、トマト脇芽とり・下葉とり・収穫
 ぶどう房作り・脇芽&つる切り・袋かけ・摘粒
 ブルーベリー収穫・ネット張り等

昨年同期（5月～7月）の援農実績 133人日
 昨年の累計実績は263人日



1人日=1人1日2時間の援農作業

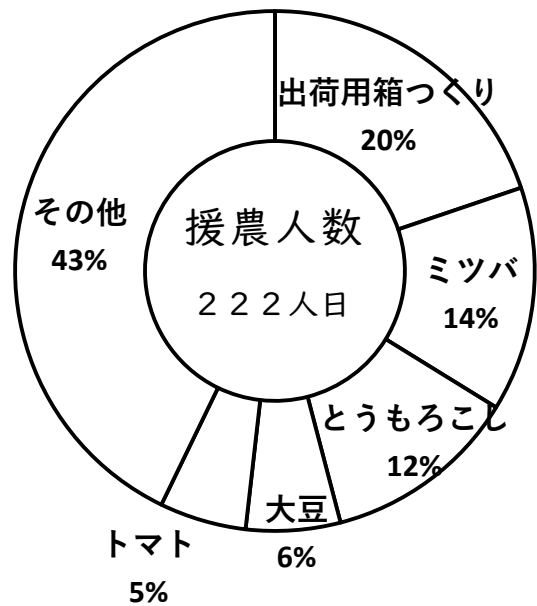


ぶどうの援農作業

港・中川支部

三か月間（5月～7月）の援農実績は、122人日。
 累計（2～7月）は222人日。
 三か月間の援農先農家は、4農家。
 援農作業は、出荷用箱作り、ミツバ出荷調製
 トウモロコシ刈り取り体験イベントの手伝い・草取り
 エダマメ葉取り・袋詰め、トマト収穫・脇芽とり

昨年同期（5月～7月）の援農実績 149人日
 昨年の累計実績は270人日



1人日=1人1日2又は3時間の援農作業



戸田川緑地
 親子マルシェ
 ～農・食・子どもが繋がる場所～
 でのお手伝い

農家さん紹介

プロフィール

今回は、寺島はつえさんさんを訪問しました。

農楽会発足時の農家メンバーで10年ほど前に亡くなられた寺島義市さんの奥様です。4代以上続く農家ですが、現在は義弟の孝一さんと忠男さんの協力を得ながら営農されています。ご子息の孝さんも会社の休みには農作業を手伝っています。



亡くなられた義市さんは研究熱心で、農業関連の賞を沢山受賞され、青森県の八戸まで技術指導に行ったりしていました。八事五寸ニンジンも元来は堅かったのですが、品種改良で柔らかくしました。碧南美人という品種も天白のニンジンの種がもとになっています。名古屋市の農政課との関わりから、農楽会の発足から援農先として登録しました。

区画整理で15か所に分散している畑でキャベツ、大根、小松菜、サツマイモ、ニンジンと色々な野菜を作っています。幼児の体験学習にも大根やサツマイモの収穫体験で協力しています。

昔から農作業日誌を付け、振り返りながら農作業をしています。最近は周囲が市街化し、肥料や農薬をまくのにも気を遣うようになってきました。高いマンションが建つと日当たりが悪くなり、農作物の色合いが悪くなるのも気がかりです。

農業は手作業が多く、農楽会の会員に手伝ってもらえると助かります。ワイワイガヤガヤと話しながらやるのも楽しいです。ただし、農家にとって作物は大切な商品なので、作業に関して分からないことがあれば聞いて欲しいです。また、会員同士で教えあうのも良いですね。農作業は自然が相手で例年と同じことをやっても同じものはできません。良いものを作るように努力しており、当家を表す「67番」は品質が良いと市場の仲買さんにも信用があります。どんなことでも信用が大切ですね。



はじめよう！ 家庭菜園(*1)

定植や薬剤散布を終え、株がある程度大きくなったらいらぬ枝葉や茎を切る「整枝作業」が必要です。

今月号ではその中の「芽かき」について説明していきます。

芽かきは、付け根から出てくる余分なわき芽を小さいうちに摘み取る作業。

必要な部分に栄養を行き渡らせ、元気の育てるために行います。

また、枝や葉が混みあわなくなるため日当たりアップにも効果的です。



1. 芽かきって何？

芽かきはトマト、キュウリ、ピーマンなどの果菜類を育てる時に必要となる作業です。

茎と葉の付け根に出てくる新芽のことをわき芽といい、このわき芽を摘み取ることを「芽かき」といいます。

わき芽を何本も伸ばすと日当たりや見通しが悪くなり、さらには栄養が分散し野菜の生育が悪くなってしまいます。

そのため、なるべく枝分かれさせないようにしましょう。

芽かきをすることによって栄養が実に送られるようになるので野菜の実つきが良くなり、収穫量が増えます

2. 芽かきの方法って？

わき芽の根元を親指と人差し指でしっかり挟みポキッとひねるようにすると簡単に取れます。

細かい作業なので、素手でおすすめ（ハサミNG）。

わき芽を取ったあとの切り口から、雑菌が入ると野菜が病気になってしまうため、

事前に手をきれいに洗ってから行いましょう。

芽かきを行う時間帯は晴天の日の午前中が良いです。

雨の日に行うと、芽かきをした箇所から細菌が入る可能性があるため、避けましょう。

3. 芽かきのメリットって？

- ・ 主要な茎に栄養を集中させることができる
- ・ 風通しが良くなり病害虫を防げる
- ・ 日当たりが良くなり、生育が良くなる
- ・ 枝が混みあわず作業がしやすい

(*1) はじめよう家庭菜園は、なごや農業協同組合様が発行されるCITYなごやに掲載されています。なごや農業協同組合様のご承諾を得て、掲載しています。

あいちの伝統野菜

今月号はきゅうりです。

きゅうりはヒマラヤ山脈南部山麓で成立したもので、ククミス・ハードウィッキーと呼ばれる植物が原種だろうとされています。

但し、アフリカ起源説もあります。

有史以前に西方に伝わり古代エジプトでは第12王朝時代(紀元前1750年頃)栽培されていたらしい。

その後周辺に拡がり、古代ローマでは滑石板を用いて冬も栽培したといわれています。ヨーロッパでは16世紀頃栽培が盛んになりました。

中国には紀元前100年頃西域から入ったとされ、最初胡瓜と呼びその後黄瓜となりました。

6世紀以前に中国に伝わったことは確実で、華北系品種と華南系品種とが成立しました。

わが国には6世紀頃渡来したといわれ、漢名の黄瓜からキュウリの名が出たといわれています。



あいちの伝統野菜

次号はさといもを紹介します

古くは薬草として利用したらしく野菜としては江戸時代末期以降です。

寛政年間(1790年頃)から江戸砂村ではキュウリの早出し栽培が始まり、全国各地で地方品種が成立したとみられています。

明治末頃の作付面積はナスの約1/3で、その後、トマト、タマネギ、キャベツに次いで高い増加率で増え、第二次世界大戦後は温室栽培が盛んになり、一年を通して比較的安価なキュウリが生産できるようになったことと食生活の洋風化に伴い従前の漬物材料からサラダ野菜に変わり、キュウリは周年なくてはならない野菜になったことから、トマトと果菜類の収穫量の首位を競うほどになっています。

一年生のつる性の植物で、種子は暗発芽種子です。

雌雄異花ではあるが、単為結果を行うため雄花が咲かなくとも結実します。

キュウリは世界各地で栽培され、品種の数が多く、ヨーロッパでは比較的雨が少ない地帯に適応した欧州系のキュウリになり、英国温室型、スライス型、ピクルス型に分化しました。

東洋に伝わったキュウリは中国で華南系品種、華北系品種として成立しました。華南系品種は東南アジアから中国南部で早春に栽培されたもので、節間はつまって、草姿はずんぐりし、比較的日長が短く夜温が低いとき雌花が着きやすい。

一方、華北型品種は節の間が伸びやすく根の張りが粗く植替えすると植え傷みをおこしやすく比較的温暖長日条件でも雌花は着きやすい。

耐暑性は比較的強く、果実の品質は一般に華南系品種よりもすぐれている。

青大きゅうりが愛知の伝統野菜に選ばれています。

青大(あおだい)きゅうり



長さは一般のきゅうりと変わらないが、太い。中身は緻密で、シャキシャキと、歯ごたえがある。

写真：あいち在来種保存会・「あいちの伝統野菜」畑から(ブログ)

参考文献

日本のふるさと野菜(一般社団法人日本種苗協会発行)

日本の野菜文化史事典(青葉高著 八坂書房2013)

愛知県園芸発達史(愛知県園芸発達史編さん会)

あいち在来種保存会・「あいちの伝統野菜」畑から(ブログ)

愛知県HP愛・地産・アラカルト 農業水産局農政部園芸農産課

編集後記

コロナウイルス感染症は第7波となりなかなか収まりの見えない状態です。このため本年度の研修会は昨年続き中止となりました。行動制限なしの「ウイズコロナ」に変わってきてはいますが、なごやか農楽会の会員は、高齢者も多くハイリスク世代ですので中止となりました。安全を考え、コロナウイルス感染症対策をしつつ援農をお願いします。これからまだまだ暑い日が続きますので、援農中の熱中症対策もおこたりにくお願いします。

発行 なごやか農楽会事務局(水野・佐藤) 令和4年8月24日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。